



2023
議会だより

よしか

第67号



カモさんの 草取り

▶ 第2回定例会・予算・主な事業	2	▶ 議案の議決結果表	7
▶ 主な質疑・討論	3	▶ 一般質問	8～10
▶ 臨時会・全員協議会	4	▶ 議会報告会	11
▶ 議会へのご意見	5～6	▶ 特別委員会の設置・発議・陳情・要望ほか	12

第2回 定例会

《令和5年6月9日～16日の8日間》

補正予算総額 1億612万9千円
(可決)

令和5年度予算総額 77億7,351万9千円
(昨年比 4.7%増)

主な事業

企画総務費（調査分析委託料）

- ▶ 交流拠点施設を核とした官民連携手法検討に対する調査分析経費
1,197万円

地域医療対策費（地域医療確保緊急対策事業補助金）

- ▶ 公的病院に係る特別交付税の対象病床数の変更による交付税増加分
5,393万円

地域医療対策費

- ▶ 医療法人カタクリ会への拠出金
600万円

予防接種費

- ▶ 新型コロナウイルスワクチンの接種に向けた体制確保等に係る経費
1,476万円

環境衛生総務費

- ▶ 地球温暖化対策実行計画の作成経費
996万円

商工振興総務費

- ▶ 原油価格や物価高騰の影響で経営負担が増大している事業者等の持続的な経営を支援
1,300万円

主な質疑・討論

令和6年春から石州会に変わって、医療法人「カタクリ会」が六日市病院の経営を行うことになりました。
そのために法人格を取得するための手段としてカタクリ会よしかクリニックを設立することになりました。

三浦議員

開設場所が上高尻の保育所跡地となつている。なぜ旧六日市学園を選ばなかったのか。

【医療対策課長】

基本的に訪問診療のみ行うので、大きな施設は必要ない。時間的な制約もあった。

桜下議員

住民の一番の関心は訪問診療の具体的な内容である。

【医療対策課長】

月2回程度の開設を予定している。あくまで無医地区が対象なので、全町的に対応はしない。細かい事はこれから決めていく。

庭田議員

高津川てらすにも診療所開設の計画がある。官民連携のまちづくりを掲げるのなら、旧六日市学園を活用すべきである。

【副町長】

よしかクリニックはあくまで六日市病院の指定管理者になつてもらうための設立なので、高津川てらすの計画の主旨とはちがう。

国土交通省の先導的官民連携支援事業の決定（島根県では初）を受けて、年間一万七千人以上の交流人口がある真田グラウンドを中心とするエリアに交流拠点「まちの駅」を設置し、地域振興をはかるための調査がプロポーザル方式により行われます。

桜下議員

調査のなかにサブグラウンドに関連するとは含まれるのか。

【企画課長】

サブグラウンドに限らず、新しい提案があることは否定できない。

藤升議員

大野原のグラウンドを使って、真田グラウンドの利用率を高めるといような提案の可能性もあるのか。

【町長】

様々な提案があると思う。

河村（隆）議員

※PFIが機能すれば指定管理料など財政負担の軽減にもつながる。官民が一緒になつて計

画通り進めるべきである。

【町長】

地域の活性化につながる提案を期待している。

※PFIとは：公共施設等の建設、維持管理運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

議案第43号

吉賀町一般会計補正予算（第2号）

反対討論

桜下議員

この補正予算には、真田のサブグラウンド建設の可能性がある、交流拠点づくり（「まちの駅」構想）に関する費用が含まれている。大野原にあるグラウンドも年に数回しか利用されておらず、無駄な施設が作られる可能性を危惧し、反対する。

藤升議員

交流拠点施設（旧六日市学園）周辺で調査分析を行う委託料について、今後、旧六日市学園の改修が必要となった場合は事業者の負担となるが、十分な改修費用を得られるか不明であり、将来的な危機感を持つため、反対する。

臨時会・全員協議会

▶ 5月15日 第2回臨時会

＊令和5年度一般会計補正予算（第1号）

企業版ふるさと納税活用支援事業 200万円（寄附金）

持続可能なまちづくりを進めるための事業を実施する高津川てらすへ支援を行い、官民連携による共創を推進するために使われます。

▶ 6月5日 第5回全員協議会

＊旧六日市医療技術専門学校施設について

人口減少や高齢化が進む中山間地域において、町が直面している様々な問題や課題に対して、地域住民がその問題を自らの課題として捉え、町が地域住民とともに課題解決に向けた取り組みを実施していくため、集落支援員設置業務委託契約を締結した。

実施法人 一般社団法人高津川てらす

委託料 1,305万円

基本方針

- ・メディカル・フィットネス事業
地域医療やスポーツ団体と連携して住民の健康増進に貢献する
- ・有機農業推進事業
農業に携わる移住者の受け入れ促進、流通のスマート化等の施策について調査・研究を行う
- ・環境・エネルギー・文化・教育事業
エネルギーの地産地消や分散型エネルギー社会の実現への取り組みを進める

＊令和5年度 国土交通省（先導的官民連携支援事業・「まちの駅」構想）の決定

「まちの駅」形成に向けた交流拠点施設を核とした官民連携手法検討調査事業

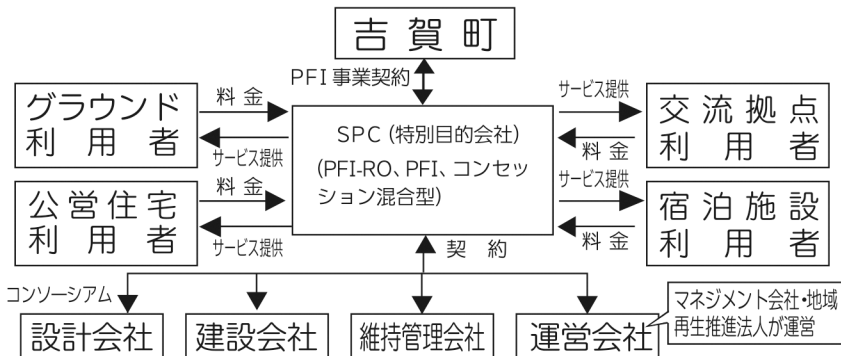
- ・吉賀町において初めてのPFI事業、交流拠点となる「まちの駅」事業を真田グラウンド周辺で進めていく。

交付予定額 1,197万円

調査内容

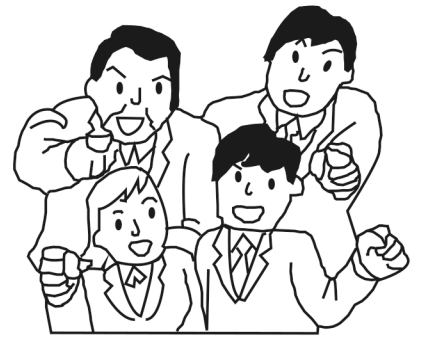
- ・地域活性化を図る複合一体型の拠点づくりを官民連携で実現するための事業手法・事業スキーム検討を行う。
- ・コンセッション方式については、本拠点施設における収益性について調査検討し、町の規模を見据えた自立可能な運営の可能性（混合型など）についても把握する。

【事業スキーム案】



次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

切ってください

折ってください

切り取り

『議決結果表』 (議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【全員賛成で可決・承認した議案】

	議案番号	件名
第2回臨時会	承認第1号	専決処分の承認について (吉賀町税条例の一部改正)
	承認第2号	専決処分の承認について (吉賀町国民健康保険税条例の一部改正)
	議案第32号	請負契約の締結について (横立団地 E 棟工事)
	議案第33号	請負契約の締結について (横立団地 F 棟工事)
	議案第34号	請負契約の締結について (林道滑峠線舗装改良工事)
	議案第35号	令和5年度吉賀町一般会計補正予算 (第1号)
第2回定例会	議案第36号	吉賀町成年後見人等受任調整委員会条例の制定について
	議案第37号	吉賀町国民健康保険税条例の一部改正
	議案第38号	吉賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第39号	吉賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第40号	令和5年度吉賀町興学資金基金特別会計補正予算 (第1号)
	議案第41号	令和5年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)
	議案第42号	令和5年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算 (第1号)
	発委第3号	議員定数等調査特別委員会の設置について

【賛成多数で可決・採択した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第2回定例会	議案第43号	令和5年度吉賀町一般会計補正予算 (第2号)	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	発議第3号	物価上昇に見合う年金支給を求める意見書 (案)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第2号	太陽光発電パネル設置に関する陳情	●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	○

【賛成少数で不採択とした議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
定第2回	要望第2号	農業経営収入保険の保険料補助に関する要請	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	○

風力発電事業計画撤回を求めよ



藤 升 正 夫

質問

「吉賀の環境と子どもたちの未来を考える会」が町長に、吉賀町から山口県にまたがる地域で計画されている風力発電施設建設計画の撤回に向け事業者への働きかけを求めた要望を、学園施設の保存活用を求めた署名1075名を大きく上回る1804名の署名を添え行っている。

多様な生態系を守り、風車騒音や低周波音による睡眠障害など健康被害についてどの様に捉えているか。

生活を脅かしてはならない

町長

風力発電事業により、高津川流域の恵まれた自然環境、町が取り組む地方創生や将来人口などに悪影響を及ぼすことや、騒音と低周波音による健康被害についても、地域住民の暮らしや生活を脅かすようなことがあってはならない。

島根県知事が事業者からの計画段階環境配慮書に対し行った意見は、「絶滅危惧種であるクマタカなどの生息が確認されている。」とする一方で、環境省の指針で、超低周波音について、健康影響との明らかな関連を示す知見は確認されていない、としており、健康



継続と多目的活用を



庭 田 英 明

質問

廿日市にあるアンテナシヨップは農業所得の向上、情報の発信など町の重要な施策を行うために必要な施設である。運営している「企業組合」に財政負担を押し付けることがあってはならない。町の負担で運営するべきである。

また施設を農産物の販売に限らず観光、交流の場など多目的に活用し、町の活性化につなげるべきである。

環境にやさしいエネルギー対策を

質問

環境破壊、健康被害など問題が継続している太陽光、風力発電を規制する条例の制定を急ぐべきである。

地域振興の拠点として

町長

公共施設でありながら指定管理制度を導入していないため、他の公共施設と差異が生じている。再考する必要があると考える。

住民の声に真摯に対応

町長

太陽光発電については条例化を検討していくが、風力発電については当面、国の環境アセスメント制度で対応していきたい。

ふるさと納税の取り組み強化を!



村 上 定 陽

質問

旧六日市学園利活用計画で財源として取り上げられた、企業版ふるさと納税の補助対象の決め方及び町民・企業サポーターへの周知について聞く。

今年度削減された補助金の対象事業や六日市病院の再生に活用する選択肢はないのか。

今後の取り組みは

質問

21年・22年の個人版ふるさと納税額は、県内でも下から2番目と下位の結果となった。今後の取り組みについて聞く。

企業版ふるさと納税周知の考え方

町長

今回は旧六日市学園の施設利活用の財源としているが、手法の対象は限定されていない。町では「吉賀町企業版ふるさと納税活用支援事業補助金交付要綱」をとって寄付金収入は重

全庁を挙げて取り組む

町長

結果については大口納税がなくなった事、返礼品が他自治体と類似しているなど、魅力不足、マーケティング不足などが挙げられる。財源の乏しい町に要である。今年度の目標を1300万円とし、計画に則った事業での全庁を挙げて取り組む。

町の改革は



河村 由美子

質問

岡山県奈義町の行政規模

は当町と同規模だが、出生率は2.9と高く、職員数89人で徹底した行政改革をして住民サービスを行い、全国のモデル地域として総理大臣も視察した町である。当町の改革はいかがか。

病院の公設民営化に住民は高い関心を持っている。医療法第63条では、医療法人の業務若しくは会計が法令に基づき運営が著しく適性を欠く疑いがある場合、会計の状況を検査させることができる。あるが、県は検査等を実施したのか。

第64条の2には、社会医療法人の認定の取り消し又は期間を定め収益業務の停止を命ずるとある。石州会の

最善を尽くす

多年にわたる経営状況の悪化や昨年の評議員解任など、この諸規定に抵触すると思われる事案が生じているが、県は石州会に対して適切な措置を講じたのか。

町長

奈義町は総面積が当町とは狭く、自衛隊の駐屯地等で一律に比較するのは厳しいと思うが、行政改革の必要は認めらる。

病院の公設民営化に向けては、要求水準がクリアできるように県に指導監督をお願いしている。今後は病院の職員の皆様が安心して継続勤務ができるよう最善を尽くす覚悟である。

アンテナショップの活用を



河村 隆行

質問

町は廿日市に店を構えている。

いま都市部を中心に自治体の店が増えているという。このたび廿日市・津和野・吉賀の、県境を越えて3市町を結ぶ津和野街道連携協定が結ばれた。歴史・観光資源をもとに、連携を深め活性化を計り、もう一度、町のアンテナショップとして、地域情報の発信、観光案内などの拠点として再構築するの

連携を通じ進める

町長

このアンテナショップは、今年で20周年を迎える。今後も文化、歴史、観光、まちづくりなど幅広い分野での相互連携をし、活性化を図っていきたい。

宮島の高舞台に限らず、廿日市内で行われる交流イベントでも、ぜひそうした町の誇らしい文化を、皆さんにご披露させて頂きたいと思っている。



この度宮島の高舞台で、津和野の鷺舞が披露されたが、つぎは高舞台でわが町の神楽・八久呂太鼓の奉納をお願いされています。情報交流の発信・受信の基地として機能さすべきと思うがお考えを。

石州会へ財政支援を



桜下 善博

質問

六日市病院(石州会)へは、

国からの特別交付税、町からの単独財政支援を含め、支援が始まった平成22年から、総額約24億円の財政支援をしている。しかし、令和3年度からは町単独の財政支援はしていない。

町単独の財政支援はしない

町長

特別交付税の80%は国、残りの20%は町の財源から支出している。全く支援をしていない訳ではない。進行中の経営改善計画の実現に向けた進捗、取り組み状況が適正であれば、相応の財政支援をする。経営改善計画の適正ではなく、実績を求められている。財政支援を検討した結果、現時点では経営改善が見込めない。町単独の財政支援は厳しい。断腸の思いで、指定管理者として選定することを断念した。

町長は、国からの特別交付税以外の支援はしないと表明しているが理由を聞く。

令和4年度は、赤字が2億5千万円の見込みが1億3千万円に圧縮された。石州会も経営改善に努力し、理事長をはじめ役員も報酬返納など、指摘されている人件費の削減に成果を出している。町単独の財政支援をするべきではないか。

学園跡地の有効活用は



松 蔭 茂

質問

1. 現状は
どうなっているか。
2. 高津川でらずに
行政がどこまで関与で
きるのか。
3. 今後どのような
なるのか、将来像は。

活動計画に沿って事業展開

町長

4月1日に
「地域再生推
進法人高津川でらず」と、普通財産の無償貸
与契約を締結した。
メデイカル・フィット
トネス事業のためのト
レーニングマシンの設
置など、少しずつ関係
団体等と協力しながら
施設の利活用を進めて
いる。
事業の計画について
はメデイカル・フィット

高齢者等対象の移動販売事業



中 田 元

質問

当町の高齢
化率は現在45
・5%であり、買い物
弱者が増加傾向にある。
社協が買い物代行事業
を始めたが、需要が少
なく1件と聞いた。住
民は移動販売を希望し
ておられる。

効果的な施策に取り組みたい

町長

移動販売事
業のニーズが
高いという事は承知し
ている。補助金が2つ
有り1事業については

買い物弱者の救済を



大 庭 澄 人

質問

町内に、食
料品店が少な
く今後どうなるのか心
配である。店に行く手
段のない人は困ってお
られると思う。この様
な地域に週一回でも移
動販売があると良いが、
一部あるようだが、知
られておらず、わから
ない。

ナラ枯れ対策は

質問

町内にカシ
ノナガキクイ
ムシによる被害木があ
る。放置しておくとし
山のナラ木が無くなる
と思うが、町内の被害
状況と対策について伺
う。

関係機関と協議検討する

町長

平成30年4
04本、令和
2年1958本、令和
4年2254本と、ナ
ラ枯れ被害は増加傾向
である。補助事業は終
了しているが、情報提
供をして対策を講じて
いく。

調査・検討する

町長

移動販売に
係る補助金と
して、車両購入費助成、
移動販売事業支援補助
金がある。



議会報告会

議会では、議会活性化の取り組みとして、議会報告会を町内5会場で実施しました。今回で2回目の開催となり、全体で54名のご参加をいただき貴重な意見交換となりました。

主な意見

- 子どもが遊ぶ公園がなく、雨天の時は遊び場がない。蔵木中学校、旧六日市学園跡地などを利用した遊び場があると、メディアから離れて遊べる。
- 風力発電はできるのか。議会で議論をしてほしい。
- 風力発電ができれば経済効果があると思う。環境破壊もあるかもしれないが、影響もわからず、農業が衰退していく中で経済効果の方が大きいのではないか。
- 議員のなり手不足は、議員という職業に魅力がない、給料が低いというのが主な理由だと思う。議会を魅力あるものにできないか。
- 太陽光パネル設置に向けた工事が住民の同意なく始まっている。町は調査して条例制定に取り組むとのことだったが、その後は。
- 前回は無投票だったが、議会では定数減を考えていないのか。定数を減らし、給与を上げれば若い人も出やすいのではないか。
- 町長が学園施設をどうしたいのか町民に報告し、町民の意見も聞いてほしい。
- 高校を卒業すると多くの方が町外へ出る。将来の吉賀町をどうすべきか若い人に聞いてもらいたい。
- 町長はオーガニックビレッジ宣言をしている。子どもたちの健康が最優先であるが、地域の農家を支援することも重要であり、具体的な内容を議論しなければいけないのではないか。



議会報告会の様子

議員定数等調査

特別委員会の設置

現在、地方議会においては、議員のなり手不足、高齢化等様々な問題により、活性化が図られない状況にあります。

議員定数や政務調査費の導入、費用弁償について検討する必要があると議長が諮問し、特別委員会の設置が決定されました。

○委員構成

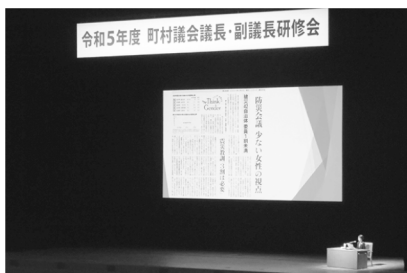
委員長 桜下 善博
副委員長 松蔭 茂
(議長は除く)

○設置期間 令和5年12月28日まで

全国正副議長研修会

5月23日、東京国際フォーラムで、恒例の全国町村議会正副議長会が開催されました。

議会の課題、特にデジタル社会、ジェンダーギャップ（男女格差）やハラスメントについて、3名の著名な先生方の講演を聴講し、大変有意義な研修となりました。



発議

：議員が提出した議案

【発議第3号】

物価上昇に見合う年金支給を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

〔理由〕 高齢者等の年金を、暮らしを支えるに足りるものとする事によって、安心できる生活を保つため。

◇賛成多数により可決

陳情・要望

【陳情第2号】

太陽光発電パネル設置に関する陳情

提出者 太陽光発電設置反対同盟

代表 花崎 訓恵

反対討論

藤升議員

大規模な太陽光発電設備を設置した場所では、地元経済に良い影響を与えるなど、プラスに働いているところもある。家庭用の発電パネルを設置する方も増えており、前向きに進めていくことの方が望ましいと考え、反対する。

◇賛成多数により採択

【要望第2号】

農業経営収入保険の保険料補助に関する要請

提出者 島根県農業共済組合

組合長理事 堀江 眞

島根県農業協同組合西いわみ地区本部

常務理事本部長 田村 清巳

◇賛成少数により不採択

編集後記

議会では「議員定数等調査特別委員会」を設置しました。町内5会場において開催された議会報告会で議員定数、議員報酬、なり手不足等の意見、質問が多く交わされました。実際、本町でも2年前の改選では合併後初の無投票でした。

皆様の意見を真摯に受け止め、調査、議論をします。なお、議員定数削減ありきの委員会では無いことをご理解ください。

広報広聴常任委員会

桜下 善博

委員長 中田 元

副委員長 松蔭 茂

委員 桜下 善博

河村 隆行

庭田 英明



【今月の表紙】

今月は、アイガモ農法で有機米を栽培されている、「立河内絆」のアイガモ放鳥を撮影しました。

25人の組合員が、約8haの有機JAS認証ほ場で、安心安全な米づくりをされています。

ご協力ありがとうございました。